

大学等におけるインターンシップの推進に係る 専門人材の育成・配置について

インターンシップを取り巻く現状

学術研究や教育の発展

第4次産業革命・Society5.0

グローバル化の進展

地方創生への対応

社会全体の構造が著しく変化



これまで以上に多様な高等教育への期待・ニーズに対応していくために、
大学等は、他の機関や関係する産業界、地方公共団体等との連携がますます必要



社会や地域に開かれた大学改革の重要性が一層増大

こうした状況の中、大学等におけるキャリア教育・職業教育や専門教育を強化していくために、
産学協働で人材育成に取り組むことが重要



その中でもインターンシップは効果的な教育手法と考えられていることから、
教育的効果の高いインターンシップを推進していく

専門人材の必要性と現状・課題

教育的効果の高いインターンシップの構築・運営
ができる人材

大学等と企業等との間で調整を行い、
インターンシップを推進できる人材

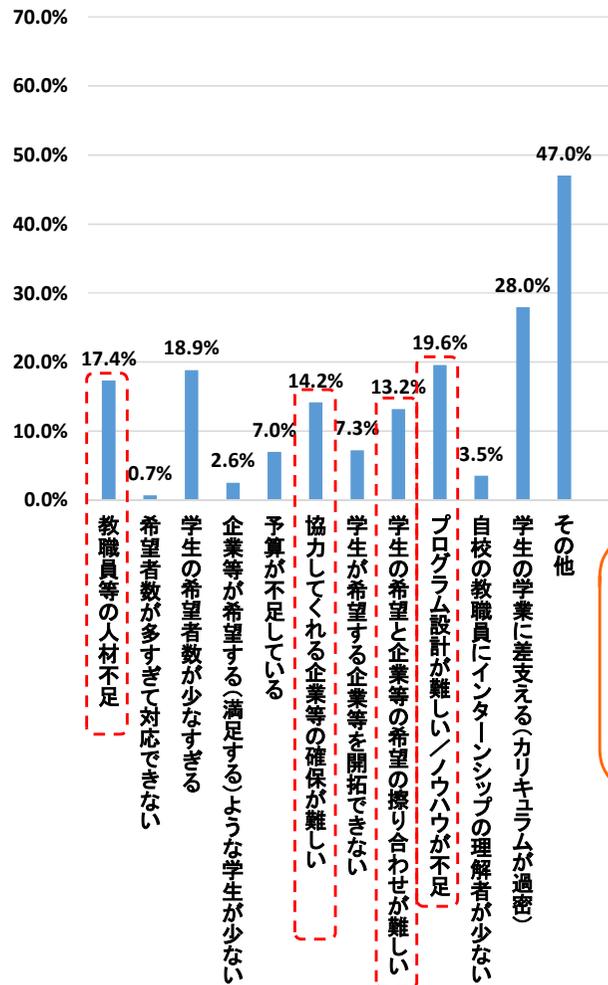
が必要

現状・課題

専門人材

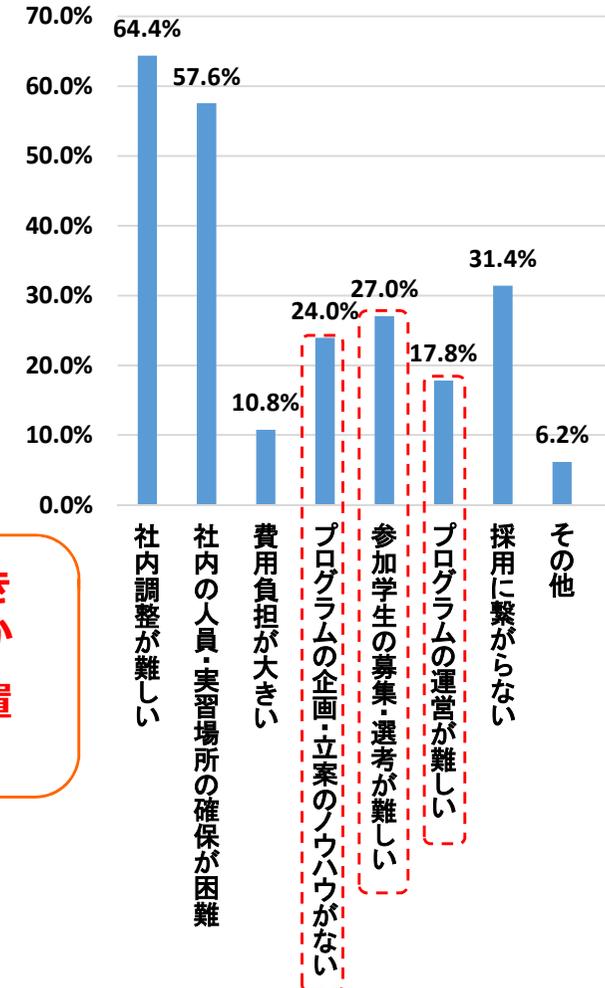
大学等

企業等



これらの業務を担う
専門人材が不足

- ✓ 専門人材が果たすべき具体的な役割とは何か
- ✓ どのように育成・配置を図っていくか



「インターンシップの更なる充実に向けて議論の取りまとめ」概要（専門人材関連部分）

インターンシップに係る専門人材が果たす役割として、例えば、

教育的効果の高い インターンシップ の構築・運営

- ✓ キャリア教育・専門教育に関する考え方や取組を踏まえて、学生の業種理解・仕事理解の促進
- ✓ 実施したインターンシップの効果や課題を実証的に検証し、改善につなげていく
- ✓ 事前・事後学習を適切に行うなど学生に対するなど、インターンシップの教育的効果の向上
- ✓ インターンシップを通じて、教育課程や教育方法の更なる改善・充実を図っていく

学生・大学・企業にとって有意義な内容となるよう
インターンシップを設計し、運営

大学等と企業等と の間で調整

- ✓ インターンシップの企業での受入れ先の開拓や、学生と企業のマッチングなどの調整
- ✓ 企業の、自社に対する理解促進や学生等への魅力発信

- インターンシップに係る専門人材の役割について、どのような者が実際に担うのかということは、**大学等や地域の実態に応じて異なってくる**
- **教職員がそれぞれ役割を分担し**、大学等と地域の企業や経済団体、協議会等と協働するチームとしての体制を作ることが大切

➡ **大学等や企業において人事異動等で担当者が変わることがあっても
取組が継続し、持続的に発展することにもつながる**

インターンシップを通して、学生の成長や変容等を把握し、大学等におけるカリキュラムや指導方法等の改善につなげていくことが重要→

インターンシップをはじめとした産学協働教育について、**大学等における組織的な取組として位置づけ、専門人材の役割や具体的な職務等を明確化し、その活躍を後押しすることが重要**

大学等におけるインターンシップの推進に係る専門人材に必要と考えられる要素等①

教育的効果の高い
インターンシップ推進に
係る専門人材に必要と考え
られるマインドセット

- 「インターンシップ」が大学教育として必要であり、推進すべきものであることについての十分な理解とその推進への意欲
- 「インターンシップ」が大学改革・大学教育改革の推進にとって重要な意味を持つということについての十分な理解と改革への意欲

上記に関連して、例えば主体的な参加者・学生の裾野拡大への志向や日常的な自己研鑽の実施（人間的な魅力（对学生・企業等）に磨きをかけることも含む）が前提となると考えられる。

その上で必要と考えられる要素と具体的な行動の例

STEP1
「説明できる」
レベル

STEP2と
協働できる

STEP2
「行動できる」
レベル

STEP3と
協働できる

STEP3
「変革できる」
レベル

プログラム構築

要素

大学等の教育目的に応じて、学生が身に付けるべき知識・能力の修得のためのプログラムの構築・改善

大学等の教育目的に応じて、地域や社会のニーズを踏まえ、
座学とインターンシップが融合したプログラムの構築・改善

行動例

- 大学等の教育目的に応じ、地域や社会のニーズを踏まえたプログラムを構築・改善することができる

- 大学等の教育目的に応じ、地域や社会のニーズを踏まえたプログラムの必要性や重要性を説明できる

- 大学等の教育目的や地域や社会のニーズを踏まえ、学生や学問分野に応じた多様なプログラムを構築・改善できる

学生との関係

要素

学生の学習意欲の喚起や専門性の深化・向上、職業意識の育成

- 学生に対して、これまでの学修や自身の専門性とインターンシップ先の事業や業種全体の特徴等との関係について、理解を促すことができる

行動例

- 事前・事後学習、モニタリング等の必要性や重要性を理解し、実施することができる

- 学生に対して、これまでの学修や自身の専門性とインターンシップ先の事業内容や業種全体の特徴等との関係について理解させつつ、今後の大学等での学修の深化や研究の発展、自身のキャリア形成を促すことができる

大学等におけるインターンシップの推進に係る専門人材に必要と考えられる要素等②

